

行方市新市建設計画変更計画(案)に対する意見に対する市の考え方

○意見募集の時期 : 平成 26 年 7 月 25 日(金)～平成 26 年 8 月 23 日(土)

○提出者数 : 4 人

○意見件数 : 3 件

案に対する意見等(要旨)	市の考え方
<p>北浦幼稚園は東日本大震災で被災したため、プレハブの仮設園舎で不具合箇所が多々ある中で園児たちは園生活を送っています。北浦の園児たちにも玉造、麻生のような環境が整った幼稚園を、利便性などを考慮し北浦統合小学校付近に早期建設を強く要望します。</p> <p>東日本大震災の教訓を生かし、災害後すぐに避難できる建物・場所が一番だと思えます。(件数: 2)</p>	<p>H21 年 2 月策定の「行方市学校等適正配置実施計画」の中に、幼稚園の適正配置として、市を北西部ブロック(主に玉造地区)、北東部ブロック(主に北浦地区)、南部ブロック(主に麻生地区)の 3 つに分割し、ブロックごとに通園区域を設定し、それぞれ 1 園を設置しますと謳っておりますので、今後の未就学児数の動向や保育形態や保育内容が競合する私立幼稚園や私立保育園との調整・連携を図り、幼児教育環境の充実を図るため早急に検討を進めてまいります。</p>
<p>岩手県紫波町(しわちょう)の「オガールプロジェクト」や同プロジェクトのファイナンシャルアドバイザーの経済金融評論家の山口正洋氏(ぐっちーさん)のファンドの作り方を参考にしてください。</p> <p>行方市役所を中央の新たな場所に建設することは反対です。現在の麻生・玉造・北浦のトライアングル・トリオが素晴らしいと思います。それぞれに個性のある土地でこれを進化させる頭脳を発揮してほしい。この三点を利用者の要求に対応して運行するオンデマンドのバスで結び、市民・職員はこれを利用する。</p> <p>場所の観念より道を生かす、バスの中はオフィスでありお店になるように考えるべき。</p> <p>各拠点には、それぞれの地区にアイデアを出していただき競ってもらい、津澄小学校の跡地に農業大学や筑波大学のサテライトを持ってくる。そして、多くのアジアを中心とした青年に学んでいただき、農業を生物資源に発展し、農作物を食料から資源へと考えを変えてもらう。</p> <p>市職員が減少するなら、団塊世代やリタイア世代を NPO 法人やボランティアとして組織し都会からの人や多くの新規住人を活用して、他の街から人を呼び込む活動をすべきと考えます。(件数: 1)</p> <p>※(オガールは、フランス語で駅を意味する「Gare」(ガール)と紫波の方言で「成長」を意味する(おがる)の造語)</p>	<p>「オガールプロジェクト」は、紫波町(人口 3 万 4 千人)が民間企業と公民連携プロジェクトとして、補助金を貰わずに民間のアイデアを用いて紫波中央駅前町有地を「オガール紫波」として整備し、年間 70 万人の集客と初年度から黒字とした地域再生の成功事例で、市としても今後のまちづくりの参考にしたいと考えます。</p> <p>国では公共施設の整備やサービスの提供にあたり、民間の資金や経営能力・技術的能力を活用し、効率的かつ効果的に社会資本を整備し、市民に対して質の高い公共サービスを提供する P F I (プライベート ファイナンス イニシアティブ)事業を推進しております。市としても今後の施設建設や行政サービスには、P F I の検討が必要となることから、事業のために金融機関から借用した資金をその事業で生み出す収入で返済することができるかを見極めるプロジェクト・ファイナンスにも注視し、制度に対する理解を深め、P F I の円滑な事業導入を進めていきたいと考えます。</p> <p>行方市は 3 町が合併し誕生したことから、それぞれの市街地がトライアングルの形で 3 町時代の施設がそのまま残っており、今後、公共施設の老朽化と少子高齢化対策が大きな課題となります。厳しい財政状況が続く中で、限られた人員で質の高い市民サービスを提供していくためには、市役所を含めた公共施設等の全体の状況を把握し長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に進めてまいります。</p> <p>提案いただきました地域の個性を生かした施策、公共交通ネットワークの社会・生活基盤の整備、学校跡地の有効活用、農産物の資源化、団塊世代やリタイア世代の活躍の場づくり、都会からの交流人口増加など、今後策定するまちづくりの総合的な計画(第 2 次総合計画)に生かしていきたいと考えます。</p>
<p>①観光資源としてのパラセーリング、ウォータースポーツの代表としてのヨット、カヌーをぜひ書き加えてほしい。ジェットスキーはメーカーの商品名なので、水上オートバイか水上バイクに変更したほうがいい。</p> <p>②防災船着き場は、現在国土交通省により霞ヶ浦西岸の美浦村に整備中ですが、霞ヶ浦東岸の行方市にも整備を進めていただき、平常時は水上からの観光客の玄関口として活用したらどうか。現在は水深のある安全な船着き場や桟橋がなく、白帆の湯などへの水上からの利用に対応できていない。(件数: 1)</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ下記のとおり修正することとします。</p> <p>①「帆引き船やパラセーリング、ヨット、カヌー、水上オートバイ、フィッシングなど」に修正する。</p> <p>②「出水時や地震時等に水上からの緊急復旧活動及び水上資源運搬を行うことが可能な防災船着場については、国や県と協議しながら環境整備を促進します。」を追加する。</p>